

来年度の水質環境基準類型の見直しについて（情報提供）

奥州市に位置する胆沢ダム貯水池について、令和 8 年度の環境審議会において水質環境基準類型見直しに係る諮問を予定しています。

令和 8 年度以降の類型見直しについては、現況の水質や社会情勢を考慮の上、随時検討します。

1 胆沢ダム貯水池における類型見直しの必要性

北上川水系の胆沢川に位置する胆沢ダム貯水池は、現在、河川 A 類型（胆沢川下流）、河川生物 A 類型（胆沢川）に指定されているが、その貯水容量等から湖沼としての類型指定対象に該当する。平成 26 年度に管理が開始されてから 10 年以上が経過し、水質も安定していることから、湖沼として類型指定を行う必要がある。

2 胆沢ダム貯水池の概況

ダム設置河川の胆沢川は、奥羽山脈系焼石岳を源流とし、尿前川等を合流しながら北上川に注ぐ指定区間延長 29.5 km の県管理一級河川である。胆沢ダム貯水池は、奥州市西側の北上川水系胆沢川に位置する多目的ダムである。

総貯水容量	流域面積
143,000 千 m ³	185.0 km ²

3 胆沢川の類型指定状況

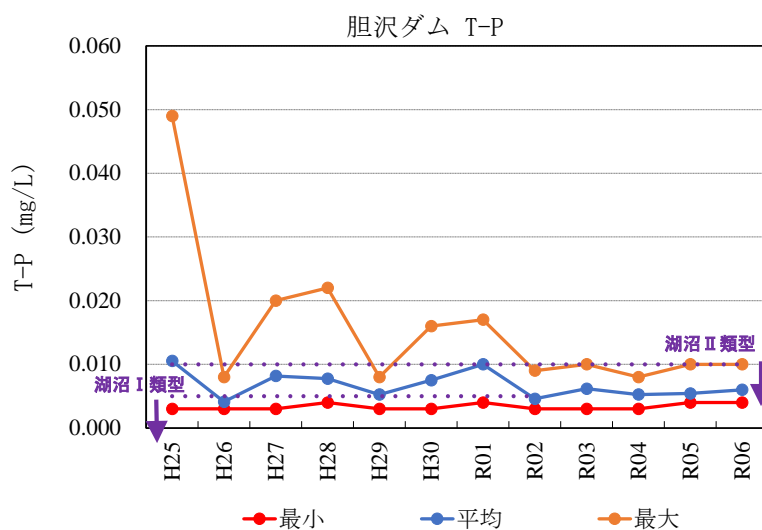
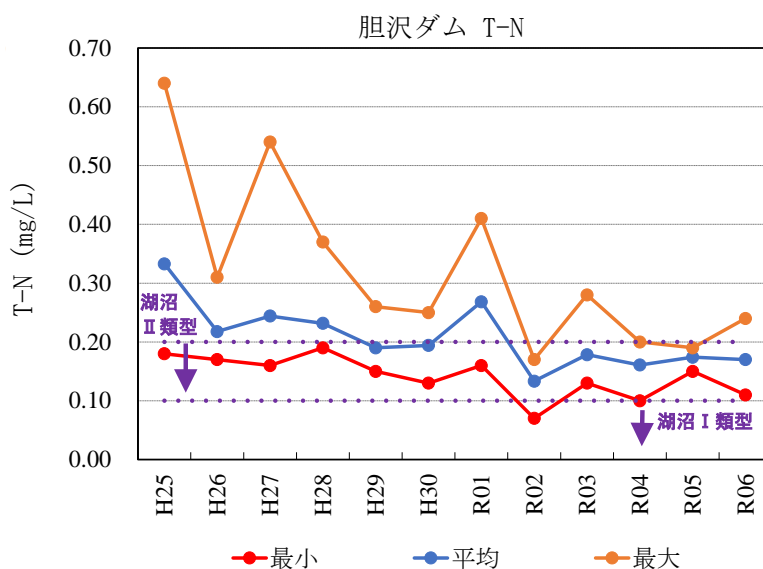
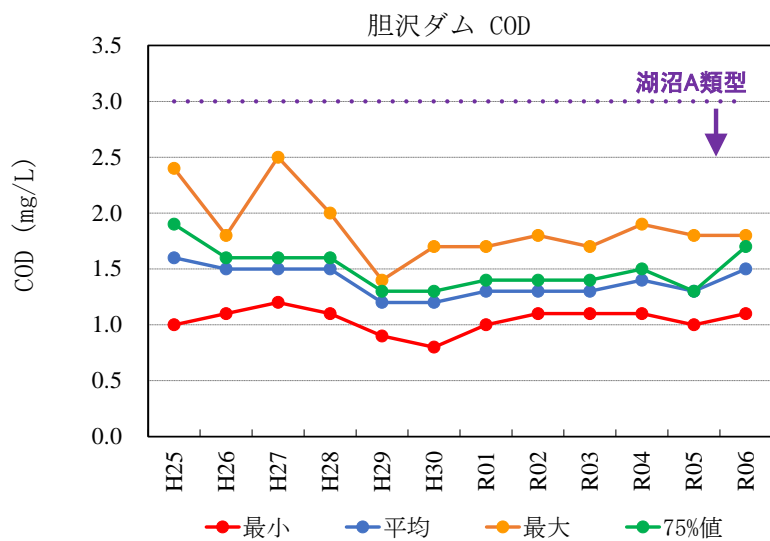
（1）利用目的の適応性に関する項目

水域	水域類型	告示年月日	範 囲
胆沢川上流	河川 A A	昭和 50 年 3 月 25 日	石淵ダムえん堤から上流の胆沢川本流及び前川本流（石淵ダム貯水池を除く。）
石淵ダム貯水池	湖沼 A A		石淵ダムえん堤及びこれに続く陸岸に囲まれた水域（同水域に流入する胆沢川本流と各支流川を除く。）
胆沢川下流	河川 A		石淵ダムえん堤から胆沢川と北上川との合流点までの胆沢川本流

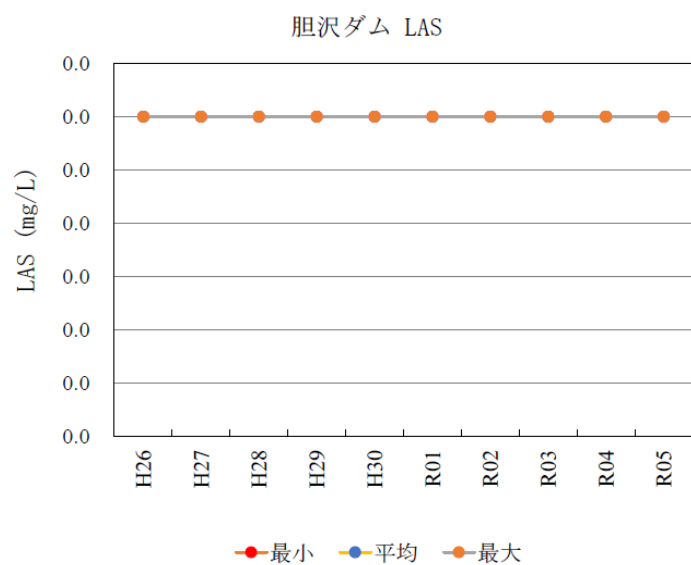
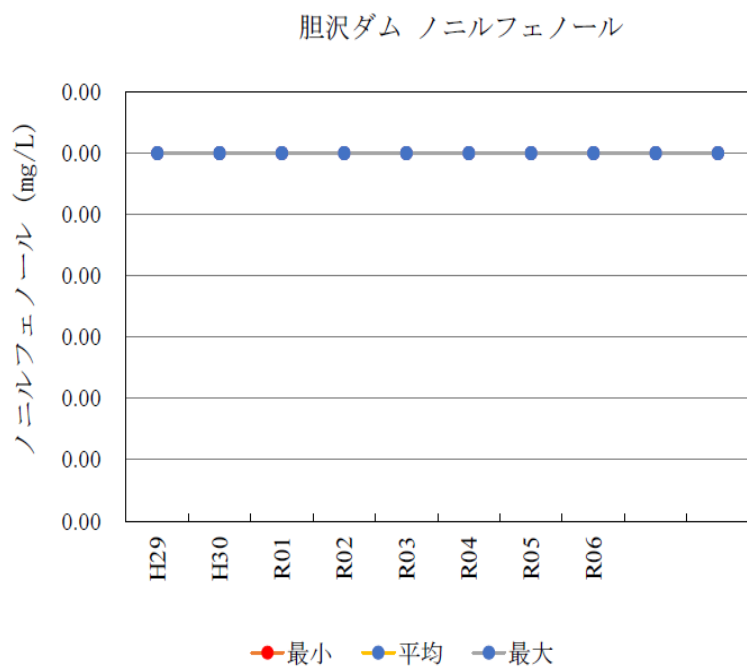
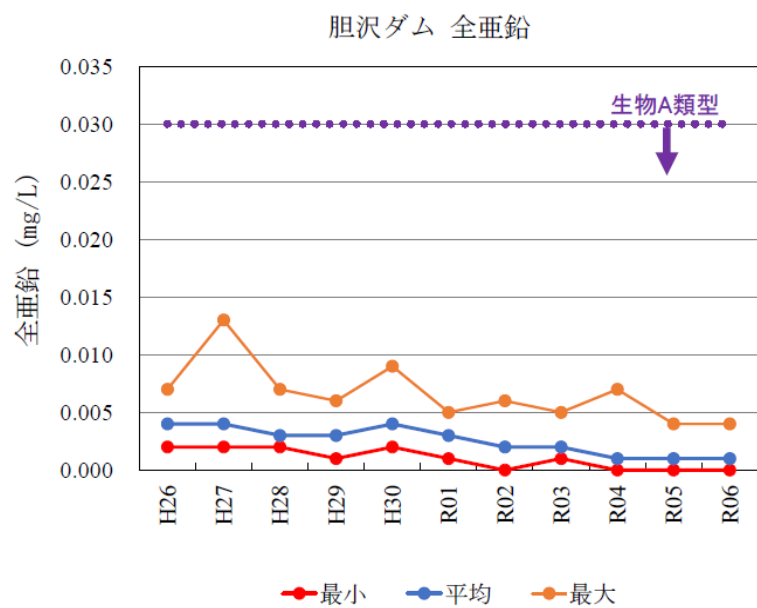
（2）水生生物の生息状況の適応性に関する項目

水域	水域類型	告示年月日	範 囲
胆沢川	河川生物 A	平成 22 年 3 月 31 日	胆沢川と北上川との合流点より上流の胆沢川本流及び前川本流（石淵ダム貯水池を除く。）
石淵ダム貯水池	湖沼生物 A		石淵ダムえん堤及びこれに続く陸岸に囲まれた水域（同水域に流入する胆沢川本流と各支流を除く。）

4 胆沢ダム貯水池の水質の状況 (H25～R6)



※検出限界以下の値(<0.003)は、下限値を記載。



5 胆沢ダム貯水池の流域

